

月刊・神戸 1980/1

読書アヲカルテ

- 織田作之助と可能性の文学(1) (5~6ページ)
- 身辺雑記— 禁煙のこと — (7ページ)
- 郷土誌の窠 (8~9ページ)
- 海文堂・1月の催し案内 (9~10ページ)
- クイズコーナー



海文堂書店発行
〒650 神戸市生田区元町通3-146

NO.
2

身辺雑記 —禁煙のこと—

あたふたと、部屋から部屋へ紙きれをもって駆け回る。今日は我社の健康診断。座る。シャツをまくり上げる。聴診器が、少し脂肪のついてきた胸に冷たく泳ぎビタリと止る。十秒。「心臓が弱るとるな。」ギクリ。「昔しから気は弱い方で……」「アホいえ、気と心とはちがう^やい」といささか気を損じた医者。ギョロリと私の右手のパイプを見て「ニコチン中毒とちがうか？」強烈なパンチ。健康診断の最中もパイプをくわえる愚かさ。まして私は心臓では前科もち……。11月10日。以来私はビタリと煙絶ち。目下、私の人生の何度めかの禁煙への挑戦とあい成りました。

今までの禁煙は、少くとも、目的つき、期限つき、謂はば「願かけ型」「自己奮いたたせ型」「自己暗示型」の禁煙で、それこそ、時満ちて解放された時の「タバコのイップク」を夜な夜な夢見つつ、終ってみれば、元の木阿弥。むしろ、禁煙前より量がふえていた^{いたらく}為体。「タバコよ、汝のためなら私は死以外の何でもしょう」(ラム)や、古人曰く「禁煙なんて簡単だ。私は、もう何百回と禁煙をした。」や、また、我が海文堂が発行している「あなたもタバコがやめられる」が○版を重ねているのをみても、古来煙を絶たんとして悩める人の数は知れない。愛煙家にして、禁煙を試みざる人は稀ではないか。にも拘らず、小生。愛用の十数本のパイプをふり捨て、爾来、一ヶ月半の禁煙中である。生来単純というか、馬鹿というか、こうと決めたら悶悶と悩むことも無く、決断し実行する。その替り禁煙に代る大義名分、例えば「イライラが嵩じて胃潰瘍になるぐらいなら、タバコでも飲んでいようがまだまだ」なんて考えれば、たちまち、悩むことも無く愛煙家へ逆戻り。今のところ誘惑にかられることもなく記録更新中。いつまで続けられるか、小生と賭けてみる方ありませんか？

(島田 誠)



郷土誌の窓

生まれ育ったところ、現在住んでいるところに愛着をもっている人は多いことと思います。今月からこのコーナーで、兵庫県内で生まれた出版物を紹介していくことにしましたのでご注目ください。

ただ、一小書店のことですので、特別の取材網があるわけではなく、目についた新聞記事や伝聞からその紹介をおこなうこととおゆるし下さい。

今月は最近の神戸新聞紙上で見かけた「郷土の本」をいくつか紹介いたします。

小さな記事で見落としそうなのですが「研究誌MEMO」に二つの雑誌が載っていました。一つは創刊号以来ずっと当店でもお預りしている『季刊・河』の四巻四号が発行されたという記事。発行所は加古川流域史学会で、創刊以来、東播地方に関するユニークな内容の文を掲載しています。今度の号では国領駿「加古川・由良川流域の基層文化を求めて」、細見末雄「丹波の廷宝検地について」、小原行雄「寺家町物語」などが入っています。

もう一つは『国民経済雑誌』140号が発売されたことが報じられています。発行所は、<神戸市灘区篠原北町4-11-5、ロイ・スミス館内・神戸大学経済経営学会>で定価は500円。中味は相当むずかしい感じですが、今号には海運関係の論文「定期船同盟行動憲章条約をめぐる若干の問題」(高村忠也)が入っています。同号には能勢信子先生が「発展過程分析用具としてのSAAシステム」を寄せておられます。お読めになりたい方は同会にお問い合わせ下さい。

タダでもらえる本としては『新版・ケチの美学』が掲載されています。この本は、日本長期信用銀行神戸支店が作成したもので、希望者に無料で配布されています。この小冊子は堺屋太一さんと木元教子さんの対談を中心に80年代の展望と、その中で暮らしたの知恵を紹介しています。ご希望の方は、官製はがきに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を書いて、<〒650 神戸市生田区京町71>の同支店あてにお申し込み下さい。

注目すべき本としては、大学生協神戸同盟体が作成した『反<公>害の系譜』が挙げられます。この本は現在大きな社会問題となっている合成洗剤の危険性を独自の実験データによって実証し、生協食堂が合成洗剤の追放に取り組んだ過程や、石けん、合成洗剤の分析などを、4年半の長い年月をかけてまとめた本です。3000部印刷され、当店

でも10部をお預りしています。定価1,000円。

神戸といえば「港」ですが、「灘の酒」も全国に名が通っています。この灘五郷の歴史から酒造工程、出荷にいたるあらゆる用語を集めて解説した本が先ごろ出版され話題になっています。この本は『灘の酒用語集』でB6判、550ページで、価格は3,000円です。発行したのは、技術者団体の「灘酒研究会」で同研究会の創立60周年記念事業として企画され、約70人の第一線技術者たちが執筆・編集にあたっています。

お申し込みはく神戸市東灘区御影本町6-1-9、灘五郷酒造組合内・灘酒研究会事務局(電) [] >まで。

海文堂・1月の催し物案内

あなたが占う'80年代

いよいよ1980年をむかえました。宇宙時代といわれる今日でも、神秘的な心の世界、予知できぬ未来を知りたい気持ちは心の中からぬぐいきれません。54年出版界でミリオンセラーを記録した和泉宗章さんの「天賦殺入門」はそのまま流行語になり、週刊誌を賑わせています。何が起こるかかわからない「不確実性の時代」といわれ、一方ではシラケムードというか責任感のうすれている現在、あなたまかせの占いブームが静かに広がるのも当然かも知れません。

神戸の長田神社では年間百万枚のおみくじの7・8割が正月に出るそうです。年の始めに、コタツに入り、ミカン片手に占いに興じるのも新年の一つの姿かもしれません。タロット占い、星占い、面相、手相、十二支占い等占いの本を一堂に集めてみましたのでお立ち寄り下さい。

なお、併設といたしまして「80年代を考える本」コーナーも設置。政治・経済・資源・企業・ビジネス社会・教育・福祉・文化・生活等の面から、1980年代を考えていく視座を提供してくれる本もとりそろえています。

※ 幸福は自分自身が見つけ出すもの、不幸は自分が作り出すもの……。このコーナーがあなたを幸運に導く道標になれば幸いです。

(一階西店、催し物コーナーにて開催中)

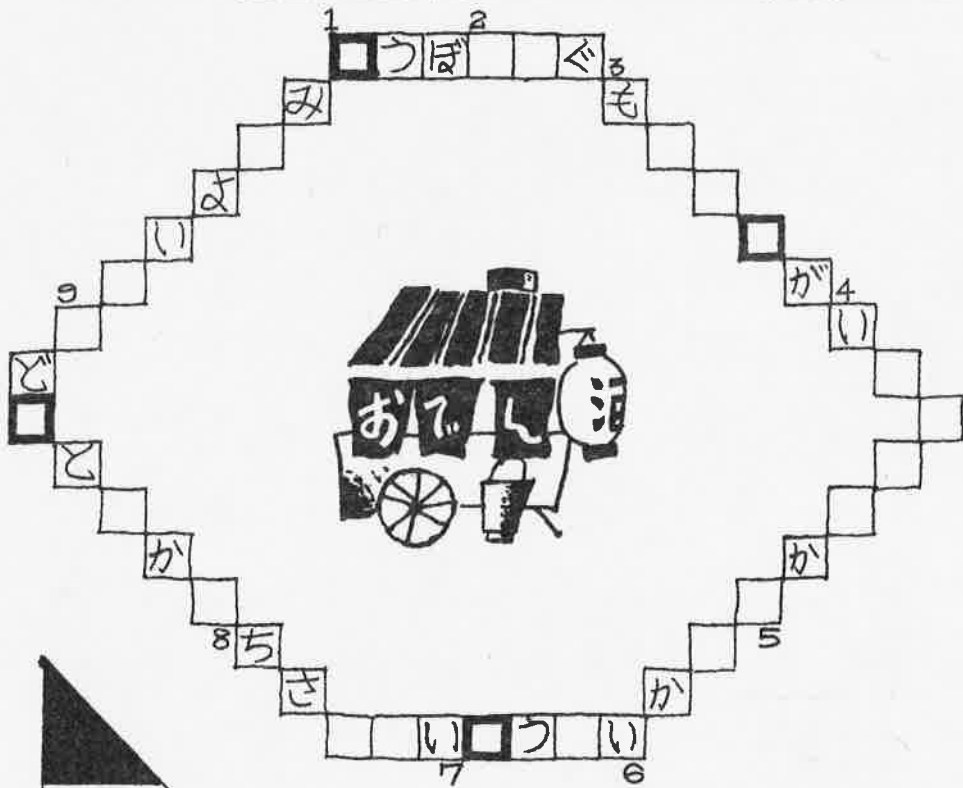
展示書籍の一部

産心社	血液型相性学	650円
〃	A B型の相性	680円
光文社	五味人相教室	630円
〃	五味手相教室	600円
KKベストセラー	面掌吉相学入門	630円
〃	豆本、電卓占い術	380円
大陸書房	タロット	2,900円
日東書院	星占い	580円
	占い百科	780円
	ほくろ占い	580円
青春出版社	気学推命	630円
〃	四柱推命入門	630円
〃	算命占星学入門	590円
新星出版社	私の手相、人相占い	550円
〃	私の星占い	550円
〃	私の十二支占い	550円
芸文社	星占い	180円
〃	ポケット占い	180円
池田書店	占い全書	800円
西東社	カード占い	870円
サイマル出版	親業	980円
国土社	これからの教育を考える	650円
日科技連	予測	900円
ダイヤモンド社	21世紀の日本を考える	800円
PHP研究所	80年代日本の可能性	980円
日本経済新聞社	変化に生きる	800円
〃	ニッポン生きる条件	850円
東大出版会	1980年代の日本経済	1,800円
日本放送出版協会	未来の日本人口	550円
朝日新聞社	未来はあるか	740円
講談社	未来を生きる	1,200円
読売新聞社	世相講談 I-III	各750円

クイズ・コーナー



ヒントに従って、右廻り、尻取り式にカナ文字を入れ、□太枠に浮かびあがる文学者の名を当ててください。



- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1) 石川達三の代表作 | 6) 「火の鳥」の作者 |
| 2) 林芙美子、二葉亭八迷の作品 | 7) 「野菊の墓」の作者 |
| 3) 「舞姫」「山椒太夫」等の作者 | 8) 「修禪寺物語」の作者 |
| 4) 浮世草子の作者 | 9) 「事故のてんまつ」で話題をまいた評論家 |
| 5) 弘法大師の別名 | |